

Light It Up Blue ちの 2021

関連企画

■ “つながる”パネル展示

発達障がいなど、いろいろな個性にふれるパネル展示。当事者からのメッセージとともに「まぜこぜ」の世界がひろがります。

3月14日(日)～4月10日(土)
9:00～19:00 火曜休館

茅野市民館 スロープ、イベントスペース



関連企画

■ アートワークショップ「地域に広がれ! ブルーライト」

青く光る「ライトスクラッチ」を、思い思いに削って描いてつくります。作品はお持ち帰りいただき、それぞれの場所でブルーライトを点灯してお楽しみください。

4月2日(金)13:30～予定

茅野市民館 ロビー 参加無料(要事前申込)
※詳しくはお問合せください

発達障がいって
なんだろう?



■ ブルーライトアップ

お立ち寄りください

ともに生きる命とつながる感性あふれる地域社会をめざし、毎年4月2日の「世界自閉症啓発デー」にあわせ、茅野市民館をライトアップし、青い光で包みます。

2021年
4月2日(金)18:30～22:00 *点灯式 18:15～
4月3日(土)～4月10日(土)19:00～22:00
茅野市民館



4月2日は国連の定めた世界自閉症啓発デー

ライト・イット・アップ・ブルー Light It Up Blue ちの 2021

ひろがれ! 青い光がつなげるころ

あたたかな青
Warm Blue の光がつなぐ
想いをともに感じたい

ライト・イット・アップ・ブルー
「Light It Up Blue」

ブルー
青でつたえたい 私たちの想い

オーティズム(自閉症)啓発のため
世界172カ国以上がつながる青い光のラリーです
<http://happy-autism.com>



毎年4月2日は、
国連の定めた
世界自閉症啓発デー

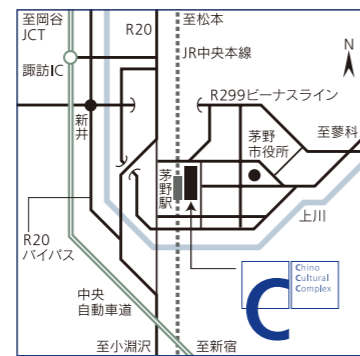
【発達障害啓発週間】毎年4月2日～4月8日
<http://www.worldautismawarenessday.jp>



今後の予定

■ 映画「道草」上映・トーク会

介護者付きでひとり暮らしをする知的障がい者の人々を追ったドキュメンタリー映画「道草」の上映と、穴戸大裕監督を交えたトークイベントを予定しています。



お問合せ
茅野市民館
指定管理者 株式会社地域文化創造
TEL 0266-82-8222
FAX 0266-82-8223
長野県茅野市塚原一丁目1番1号
受付時間 9:00～20:00
休館日: 火曜日(祝日の場合、翌平日)
<http://www.chinoshiminkan.jp/>



新型コロナウイルス感染症の影響により、内容に変更等が生じる場合がございます。

主催 Light It Up Blue ちの 実行委員会 共同主催 茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造
企画制作 R for I、茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造
後援 茅野市、茅野市教育委員会、茅野市社会福祉協議会、特定非営利活動法人ながのアートミーティング、アトリエももも、一般社団法人諏訪圏障がい者総合支援センターオアシス、諏訪地域障がい福祉自立支援協議会、JDD ネットワークながの、長野県自閉症協会、一般社団法人日本自閉症協会、ユニバーサル・サポートすわ、公益財団法人長野県長寿社会開発センター、社会福祉法人この街福祉会、特定非営利活動法人 やまびこ会、特定非営利活動法人 八ヶ岳福祉農園、特定非営利活動法人 ふくろう SUWA、T&H 合同会社 PASTORE、株式会社そうさん、信濃毎日新聞社、長野日報社、市民新聞グループ(7紙)、エルシーブイ株式会社

4.2 (fri) 18:30-22:00

4.3 (sat) - 4.10 (sat) 19:00-22:00

茅野市民館 が青い光に包まれます

アートワークショップ

「地域に広がれ! ブルーライト」

4.2 (fri) 13:30- 茅野市民館 ロビー ※要事前申込

関連企画

“つながる”パネル展示

3.14 (sun) - 4.10 (sat)

9:00-19:00 火曜休館

茅野市民館 スロープ、イベントスペース



Light It Up Blue ちの

2016-2020 はぐくまれたもの

■ 「まぜこぜ」に交わり、表現するよころび

これまでに、みんなでリズムを奏でてライトアップの点灯をカウントダウンする「リズムセッション」や、障がいの有無に関わらず誰でも参加できるアートワークショップなど、関連企画を実施してきました。「みんなで表現するってこんなに楽しいよ」という体験です。



■ みて、きいて、感じあう

点灯式では、地元の子どもたちに吹奏楽やチェロ、太鼓演奏などで出演してもらいました。また、地域の企業と作家に協力していただき、絵本から飛び出してきたような動物たちのパネルを中庭に飾り、LIUBの取り組みを紹介する関連企画も実施しました。



■ 考えるきっかけに

街なかで障がいのある人たちが働くカフェやアートを運営するなど、地域とのふれあいを大事にしているNPO法人ぶかぶかの理事長・高崎さんを招き、ドキュメンタリー上映とトークセッションを行いました。この街でだれもが、生き生きと自分らしく暮らす。そのために大切なことを考えるきっかけとなりました。



＊「生きていくよころび」を感じられる世の中になりますように

＊「生きづらさ」から

＊かかわることで初めて
ふれて して
自分の心が動く

＊自分が何かしたこと
かかわったことが
人の心を動かす瞬間に立ち会える
立ち会えたことで
また心が動かされる
そんな経験ができる

＊自分を表現する
人を感じる
共につくる達成感
その時
いろいろな人の個性や
感性を感じ
気づく機会になればいい

＊「障がいがある人」のことを
考えることは
実は自分のなかにある
価値観、常識を
ひっくり返していくことだと
感じる

＊パネルに書かれた
「つらい」
というメッセージを見て
『私には何が
できるんだろう?』と考えた

＊青い光に込められた願い
何も知らなかった
知ろうともせず…
知る機会もなかったけど

これまでに寄せられたメッセージより



いろいろな個性を持つ人たちが
「まぜこぜ」にいろ社会。
「違い」にふれて認めあい
広くゆるくつながっていく。
そんな想いを込めて
茅野市民館を
青い光でライトアップします。



毎年4月2日は国連が定めた「世界自閉症啓発デー」。この日にあわせ、ともに生きる命とつながる感性あふれる地域社会をめざし、「癒やし」や「希望」などを表す青色(Warm Blue/あたたかな青)で世界172か国以上、国内でも200近いランドマークが光のリレーでつながる「Light It Up Blue(ライト・イット・アップ・ブルー)」。

茅野市民館では地域の皆さんの提案により、市民館全体を青い光で包む「Light It Up Blue ちの」を毎年春に開催しています。2016年から始まり、今年で6回目。夕闇を静かに染めるこの光景を楽しみにされている方も年々増え、アートを楽しむ関連企画などをとおして、地域の皆さんとのかかわりも少しずつ広がっています。

「みんな違っていいんだ」という「まぜこぜの世界」への想いを込めたブルーライトアップ。さまざまな「違い」にふれて、ちょっとずつ知り合おうというきっかけになればと願っています。

■ 想いをつなげるパネル展示

世界自閉症啓発デー(4月2日)の前後約1か月間、「自閉スペクトラム症(自閉症)」をはじめとする「発達障がい」について知っていただきたいという想いから、毎回館内で「発達障がいってなんだろう?」をテーマにパネル展示を実施しています。内容を考えているのは地域の実行委員の皆さん。楽しく、わかりやすく伝わるよう工夫しながら、当事者からの実感のこもったメッセージとともに紹介しています。長野県発達障がい者支援プロジェクト「結(ゆい)」のメッセージボードも設置し、これまでにいろいろな人の想いが綴られてきました。

